

ワッペンのアイロン接着貼付方法

家庭用アイロンの場合は中温程度(120℃前後)に合わせてください。
または素材表示に従い120℃より低い温度に合わせてください。
温度が高温すぎると生地を傷める原因になりますのでご注意ください。



- ①ワッペンを貼りたい位置に乗せ、ワッペンがズレないように注意しながら、あて布(綿100%、ハンカチ、日本手ぬぐい等)を上からあてがいます。
(アイロンが直接ワッペンやボディー素材に当たらないようにして、熱による傷やテカリを防ぎます。)
- ②アイロンのあてがい方は、あて布の上から軽く押しつけるように力を加え、約20秒ほど熱を与えます。
一度アイロンを上げ、完全に冷ましてからワッペンが貼り付いているか確認してください。
特にワッペンのフチは貼り付きづらいのでよく確認してください。
- ③貼り付いていないところがありましたら、再度その部分にアイロンを当てるとさらに良く貼り付きます。
ワッペンが貼り付いたら完成です。

※ワッペンを貼り付ける際には、なるべく平らな場所をお選びください。

※伸縮性の強い生地、革、毛立ちがある生地などは、縫い付けをお勧めします。

※アクリル、ナイロン、ポリエステル等の化学繊維は、アイロンがけには要注意です。

※熱に弱い生地、防水・撥水加工の生地、ナイロン、表面が凸凹した素材には、アイロン接着できません。

ご注意 生地素材によっては、熱を加えると傷む場合がありますので、貼り付け前によくご確認ください。
ワッペンの貼り付けに関して発生した事故・怪我などの責任は負いかねます。



Tシャツや作業服などの洗濯頻度が高いユニフォーム等には、ワッペンが剥がれる場合がありますので、周りをまつり縫いや、ミシンの縫い付けをお勧めします。

転写プリントワッペンの場合の使用上の注意

- 高温下及び凍結状態での保管は、避けてください。

ドライクリーニングや乾燥機、アイロンを直接あてるなど高温を加えますと、インクがガス化し色落ちや色移りが発生する場合がありますので絶対に避けてください。

※120℃以下の温度では、基本的には問題はありませんが、高熱を与えることは極力避けてください。

※アイロン接着にてお取り付けの際、ポリエステル素材などにプリントの色が移る恐れがございます。

圧着の際には、綿100%のあて布をしてください。

- 長時間の直射日光は、避けてください。

- 追加のワッペンの制作時に、気温や湿度等の違いにより、多少の色差が発生する場合がございますが、予めご了承ください。